

実需者のニーズに対応した「能登大納言」ブランドの誕生

奥能登農林総合事務所 珠洲農林事務所



大粒で鮮やかな赤色の能登大納言小豆



機械化による生産の大規模化

奥能登地域で、古くから栽培されている能登大納言小豆は、全国の大納言小豆の中でもひととき大粒で、宝石のように鮮やかな赤色が特徴の小豆です。また、県内の和菓子屋からは、大粒で皮が柔らかく風味が良いと評価され、高級和菓子の材料として使われてきました。

しかし、収穫や脱粒（さやから豆を外すこと）、選別など手作業で行うため、多くの労力を要し、また、種子の自家採取を繰り返していたため、収量や品質が安定しなかったことなどから、「使いたくても入手できない幻の大納言」と言った声も聞かれました。

このため、県では平成16年度から市町、JAと連携して「能登大納言小豆産地育成プロジェクト」を立ち上げ、関係機関が一丸となって、能登大納言小豆の生産拡大とブランド化に取り組んできました。

当事務所では、作業の大幅な省力化が可能となる収穫機の現地実証や、新たな栽培農家の掘り起こし等を行い、現在、栽培面積・生産量は平成16年度に比べて約1.7倍まで増加しました。さらに、品質の均一化を図るため、農業総合研究センターで選抜された優良系統の種子を農家へ普及しています。一方、販売面では、JA、中央普及支援センターと連携して、県内外へ出向き、企業回りや販売促進イベントに参加する等の活動を行っており、販売量も着実に伸びています。

今後も、更なる需要開拓や計画的な生産・販売を進め、能登大納言が全国ブランドとして独り立ちできるよう、取り組みを続けていきます。

問い合わせ先：奥能登農林総合事務所 珠洲農林事務所(0768-82-3111)